

地震で被災した炭窯の補修が行われました

1月19日から22日にかけて北上市憩いの森で炭窯の補修作業が行われました。

この炭窯は北上市が所有し、北上市森林組合に管理を委託している奥行き9尺の小型のもので、実際の製炭のほか炭焼き体験などに使われていましたが、6月の岩手・宮城内陸地震で鉢に亀裂が入り、補修が必要となったものです。

補修は、①亀裂の入った鉢と煙道を取り壊し、②窯腰の亀裂を補修、③築窯用の材をつめ、④鉢を再構築するもので、指導は財団法人岩手県木炭協会が行いました。

最終日の22日には、小学生の親子を対象に炭窯作りなどを体験する自然教室（北上地方農林業振興協議会主催）と一般募集のボランティアによる炭窯作り体験（北上市主催）が開催され、合わせて20名近くが作業に参加しました。

子供たちは箕（み）を使った粘土（珪藻土、窯の材料）運びとカケヤによる鉢の締固めを体験し、泥んこになりながらも楽しそうに作業を行っていました。

また、熟年のボランティアの方々も鉢の締固めと仕上げ作業を行いました。次の日の筋肉痛が心配され

るくらい作業に熱中していました。

完成後は今後の炭窯の安全と良い炭ができることを祈願する神事が行われ、夕方からはお酒を交えての慰労会が開かれました。

このあと2週間程度自然乾燥させた後に火入れをする予定ですが、ボランティアの方々から火入れにも参加したいとの声が出ており、今後も地域住民と森林とを結びつける取組みを進めてゆきたいと考えています。



写真1 箕（み）を使った粘土運び



写真2 鉢の締固め